



長島 史織

(平成27年度卒業)

皆野町立皆野中学校

東京外国語大学国際社会学部

国際社会学科

厚生労働省

現在、私は厚生労働省の労働行政を担う部署に所属し、働く方々を支える業務に携わっています。「働き方改革」をはじめとした長時間労働の是正や、職場における怪我やメンタルヘルス不調などの労働災害に対する補償を所管しており、働く方々のセーフティネットの役割を担っています。厚生労働省の業務はメディアに取り上げられることも多いですが、日々の仕事は決して華やかなものではなく、地道で緻密な作業が大半です。しかし、「働く方々の安全・安心という当たり前を守るために働く」という使命を胸に、この仕事に誇りを持って働いています。直接国民の方々と接する機会が日常的にあるわけではありませんが、毎日の仕事が誰かの役に立っているということは大きな原動力になっています。

働き始めてからこそ、今の仕事にやりがいを感じていますが、中学生や熊女生だった頃は自分が国家公務員になるなんて全く想像していませんでした。振り返ってみると、熊女での高校生活は自分のやりたいこと、進学先、就職先を自由に考え選べる可能性に満ちた期間であり、また周囲ともその選択を尊重し合える貴重な環境でした。熊女時代に、将来の選択肢は自分の努力次第で広がること、周囲はそれを認めサポートしてくれることを実感できたおかげで、今の仕事に恵まれ頑張れていると感じます。皆様はこれから将来に向けて様々な選択をしていかれると思いますが、皆様ご自身に選び切り拓いていく力があるということをぜひ心に留めて、熊女で思う存分にその力を伸ばしていただければと思います。

令和2年度卒業生より

熊女は個性あふれるみんなが集まっていて、みんなの個性を大切にできる場だと思います。女子校は怖そうとかそういうイメージを持つ人も多いと思うけど、入学前にそんなことを思っていたことさえ、卒業した今となってはほとんど覚えてなかったくらいです。楽しい思い出も辛い思い出も女子とだからわかり合えるものがあります。熊女に入学したこと、絶対に後悔しないと、私が保証します!!

行事とテストがかぶって大変なこともあるけれど、それ以上に得られる達成感や、友達と協力して深めた絆、そして自分がこれから社会で生きていくための社会経験のようなものも、ここで多く学ぶことができると思います。勉強ももちろん大事ですが、それ以上にコミュニケーション能力や、自分で自分の道を決めてやり遂げる力がつけられるのは、この高校の自由な校風から生まれるものだと思います、私はそこが大好きです。

大人になれると感じる学校です。怯まず頑張れ!そしたら、大きく前に進めます!



辛いことも一緒に頑張る友達がいるから、なんでも乗り越えられたし、あっという間に感じられます。熊女生の可能性は無限大ですよ!

友達、先輩、後輩に恵まれて幸せな高校生活が送れた。みんなも熊女に入って勉強も部活も切磋琢磨合って、成長してほしい!

熊女は高校生活の間何に力を注ぐか、自由に決められるところだと思います。勉強、部活、委員会、友達との思い出、人それぞれだと思いますが、どれも素敵だと思います。自分で動くことは必要になりますが大切な経験になると思います!